

ト22B-33  
643

特 253  
648

エミイ・フロイドリツヒ著

# 新世界の建設と婦人

— 國際協同組合婦人協會の現狀 —

日本消費組合婦人協會



# 始



特253  
648

原著者序文

各國の協同組合婦人協會並にその國際的組織たる國際協同組合婦人協會は、或る重要な點で、  
 其の他の一般婦人團體と異り、また全體としての婦人運動の中で、特異の地位を占めてゐる。即  
 ち、協會は、社會的公正、婦人の自由等の道義的目標を追求し、實際的活動を通じてその實現を  
 圖るといふばかりでなく、一つの新しい世界經濟組織を建設せんとする廣大な事業に自らの  
 命を置いてゐる。それは本協會の主要なる任務であり、そしてかゝる婦人協會の活動は、この  
 うな理想を理解し、正しく評價し得る人々即ち我々の社會的、道徳的秩序に根本的變化を持ち來  
 さうとする事業の意義を正しく知つてゐる人々によつてのみ、正當に價値づけられるものであ  
 る。従つて、我が國際組織並に各國に於ける加盟團體の目的及び活動狀況を述べるに當り、協同  
 組合運動の本質、その現經濟秩序の下に於ける地位を概略紹介することが必要であらう。



目次

第一部 協同組合運動

協同組合の本質……………一  
 剰餘金の分配……………五  
 經濟恐慌と協同組合……………八  
 計畫的財政と現金制……………一〇  
 協同組合の倫理的意義……………三

第二部 國際協同組合婦人協會

國際協同組合婦人協會の組織・目的並に現状……………一四  
 目的の設定……………一八  
 各國協會の設立……………二〇  
 組合精神の發展……………二四  
 經濟問題への關心……………二七  
 家庭生活の合理化……………元  
 世界平和の増進……………三  
 過去と未來……………三

新世界の建設と婦人

—國際協同組合婦人協會の現状—

第一部 協同組合運動

協同組合の本質

協同組合運動は、他の一般的な諸運動のいづれにもまして理想と實踐の緊密なる結合といふことを重視する。この運動は、その目標とする社會的・道徳的・發展の追求を、實際的活動の基礎の上に置くところから、或ひは純粹なる物質追求の組織であつて、特殊の倫理的價値をもつものではないとの誤解を受け勝ちである。併しながら、かうした誤解は、次に述べるやうな事實によつて氷解さるべきものであらう。

如何なる協同組合も個々人の團結と協力によつて成り立つてゐる。個々の組合員は、組合を通して自らの一般的な經濟的要求を充足せしめる。農民は、より良い種子やより効果的な機械を手に入れ、また自らの生産物をより有利に販賣せんが爲めに、組合を作る。小工業者は、原料を一層有利に購入せんが爲めに組合を作る。消費者も同様である。彼等は日常必需品を容易に且つ有利に手に入れる爲めに組合を組織する。そしてこのやうな日常的な經濟的利益の追求の中に、知らず識らず新社會秩序の建設といふ事業を成し遂げつゝあるのである。

今日、幾百萬の主婦は、それ／＼家庭にあつて孤立し、全く非社會的な状態に置かれてゐる。しかも彼女等は、全國民經濟の基礎を形成する經濟的單位を構成してゐるのである。けれど彼女等はそれを自覺してゐない。さうした重大な役割を負つてゐるのだといふこと、そのやうな單位を構成してゐるのだといふことを知らない。だから自分達自身を組織し、相互に團結し、助け合ふといふことを理解しない。各々の主婦は、完全に自分だけの中に閉ぢこもり、家庭をのみ保持することに努める。そして増大する生産者組織の壓力の前に、てん／＼ばら／＼に孤立してゐる。かゝる資本家的生産者組織こそは、人が欲するものを生産し、販賣するといふことから、大衆生活水準を自由に決定することが出来る。それらは生産並に市場を統制し、多くの場合に國家

の全機構をも左右し、更に「主婦」として知られてゐる經濟的單位をも全然自由にする。また人にどれだけの食物を給するかも意のままに定め、人々の住み呼吸する空間まで統制し、家族の着るもの、娛樂の類までも好き勝手に支配する。このやうな有様の前に、個々の主婦は全く無防禦である。彼女等は抗議することは出来るが、それは何の影響もなく、如何なる自己防衛の手段も持たない。

こゝで一世紀前に起つた事實を想起しよう。資本主義の大攻勢の時期である。新らしい機械は、労働者大衆の生活を脅かし、その生存をも危険に瀕させた。このとき二十八人の哀れな機械工が起つた。彼等は偉大な抱負を以て危機に臨んだ。自らの惨めな家計を救ふものは、自分達自身の團結以外にないこと、これは單なる抗議の集會や示威運動で果されるものではなく、また徒らに破壊的な方法で立ち向ふのではなく、實に冷靜と建設的活動によつて實現されねばならないといふ創意を以て臨んだのである。物品を購ふに足る僅かの金を一片づつ積み上げた。小さな店舗を借りそこで自分達の生活必需品を供給し初めた。これは非常に小さな、そして平凡な出發に見えたけれども、瞬く間に偉大な結果を招來することとなつたのである。今日、その大小はともかくとして、一つの事業を起すに當つては、何人に於てもその爲の資金をどうするかといふこと

が、先づ第一義的な關心である。公衆への物資の供給は、さし當り第二義的な問題であつて、先づ資金をどう手に入れるかが現在の計畫となり、これにより得た投資資金を安定させ、増加せるといふことが何よりも重大な問題となる。

併し、このことは協同組合運動には適用されない。こゝにあつては人々の需要の充足といふことが、當面且つ第一義的な要求である。協同組合が成立する爲めの第一歩は、先づ個々の人を集め、組合員をつくること、そして彼等を共同の目的に結合することである。これにより個々人はすでに個々人でなくなり、これに代つて共同體とその支配的要素が前面に出て来る。個人とか彼の所有する金は、同一の利害に結合された集團に代位される。協同組合の目的は、利潤の獲得ではなくして、相互の援助と支持にある。消費者として自分自身の利害を守る個々の組合員は、そのことを通じて他の全消費者——即ち人類の大多數の利害を守ることとなる。一言で云へば、個人の利害は、集團の利害に席を譲ることとなるのである。併しながら單にこれだけでは純粹なる物質追求の組織と區別するに充分ではない。その實際活動の上には、理想に基く何等かの具體的象徴が見られなければならない。現行制度の下に於ては、公共への奉仕を基礎とする事業と雖も、その仕事を初める前に資金を得なければならぬ。個々の成員は、その爲の資金を獻げねばな

らない。だが、こゝに協同組合と今日の資本家的企業の相違を決定する重大な方法上の差違がある。この點こそ協同組合の理想が表はれてゐる一つの特長である。それはかやうに資金を據出し、彼を決して今日の通念による所の、自らの金を貸した人即ち株主とするものではないといふことである。現在、大部分の國々にあつては、協同組合は組合の出資に對して一文の利子も附してゐない。多少利子を附してゐる國があつたとしても、五分乃至六分を超えてはゐない。各組合員は、家族の二週間の需要を購ふに足る金額に相當する金を共同資金に據出する。そして各組合員は少なくともその據出し得る一定額を、持分として取得せねばならない。

かくて富める組合員が、貧しい組合員を支配するといふことは起らない。何故なら持分を取得したすべての組合員は、販賣に供される全物資に對して共同の所有者となるからである。この制度こそ、今日の世界に於けるデモクラシー最良の保證者である。現在の經濟社會に於ていはれてゐる「金は力なり」の言葉は、資本家的企業のすべてに例外なく當嵌まるものであるが、協同組合運動に於ては、萬人の平等の權利が遂行され、保證される。

### 剩餘金の分配

今日の經濟組織が、貨幣を基礎とし、利潤を蓄積することによつてのみ、機能を續けて行くことが出来る限り、どんな企業の仕組も剰餘の創造を目的とせざるを得ない。取引による利潤を問題とせず、組合員に原價で配給することを建前とする協同組合も、理論的にはこのことは可能であるが、実際には行ひ得ないであらう。協同組合運動は、離れ小島に碇泊してゐるのではない。各種の經濟組織の錯綜してゐる海を航し、最後に自らの支配的地位を確立する日まで、これを治める各種の法律に適合して行かねばならない。

協同組合は投機師連の市場操作による損失を免れ得ないであらう。原料は間斷なく騰落し、輸入品物價は、關稅や諸拘束によつて高下せざるを得ず、また資本主義經濟の動搖は、協同組合に大きな波紋を及ぼすであらう。だから、協同組合と雖も、私的商業と同様に、成立の當初から、損失補充の爲めの一定の利鞘を見込んだ價格を決定しないわけには行かない。この場合、屢々責任ある取引業者によつて設定された市場價格で販賣する。

けれどこのことは決して協同組合の本質に背反するものではない。反對に、如何なる物資も原價を割つては賣らず、また餘計な利潤を見込んで賣ることなく、價格を不當に切り下げず、また人爲的に高く釘付けしないと云ふ協同組合の原則に合致するものである。

このやうな相互取引を通じて蓄積された金は、年末に至つて剰餘金として現はれる。さて、ここに重大な問題となるのは、民主主義的團體が、この剰餘金の公正なる分配を如何に行ふかといふことである。資本主義組織では、資金を提供した株主が、利潤に對する優先的な要求をもつてゐる。蓋し、當該企業にとつて株主は第一義的な要素だからである。併しながら、協同組合運動にあつては、組合員以外には如何なる出資者も有しない。そして組合員は、得られた剰餘金に對して、平等の權利、平等の要求をもつ。何故であらうか。こゝで暫らく、この剰餘金は如何にして作られたかを吟味しなければならぬ。剰餘金は、組合員の購買を通じて起つて來たものである。生産は、確かに新しい富を創造する。併しこれを實現する爲には、物資は先づ販賣されねばならない。かゝる意味で購買者は、生産者と同様、全く獨立的である。ところが、同一の組合員であつても、組合に對する忠誠は様々である。或るものは、組合にすべての品物が備はつてゐるにも拘らず、必需品のほんの一部をこれに仰ぐ。他のものは一切を擧げて組合から購入する。この場合、民主主義原則を適用するには、購買高に應じて、剰餘金を分配するのが最も妥當であらう。このやうな理由に基いて剰餘金は、持分の高に關係なく、利用高の程度に應じて、全組合員に分配されることとなる。この方法は、組合員の忠誠を奨励するばかりでなく、私的財産の偏

積を防ぎ、特定の組合員が、大いなる富と共に、團體内の特權的地位に就くことを防ぐのである。恐らく利潤分配の方法で、これほど合理的且つ効果的な方法はないであらう。

### 經濟恐慌と協同組合

以上に述べた諸原則の限りでは、協同組合のもつ世界的目的を遂行するのに不充分である。今までのことは協同組合の全原則の一面にすぎぬのであつて、更に重大な原則があることを知らねばならない。それは運動全體として、またすべての組合員を通じて、絶對的な自由並に獨立を基礎とすることである。新らしい社會は、決して強制によつて建設さるべきものではない。その制度が、人類を鼓舞し、共同の目的に向つて團結せしめるやうな價值をもつと認められたとき、その團體は世界を抱擁し得るのであり、目的に役立ち得るのである。強制は眞實の内的結合を破壊する。これは結婚や家族關係のみに就いてはるべきものではない。これに反し、自由は、相互をより密接に教育し、結合せしめる。もしもこの自由意志的の原則——上述の平和と新世界建設の使徒たる實際的經濟組織と結合した——が人類の向上にとつて有力となるならば、協同組合運動者は、この社會組織の現在の基礎を相互的所有組織の方法を通じて改變させて行かねばならぬ。

今日、我々は混沌たる個人主義經濟組織の只中にある。生産力や技術的資源に於ける確固たる増加は、極めて誤まつて消費されてゐる。生産物は破壊され、失業者は増加してゐる。これらのことは人類の前途を甚だ暗鬱ならしめてゐる。そしてこれが資本主義世界の無政府制に基因してゐることはいふまでもない。人々は利潤の爲めに好き勝手に生産し、また利潤の爲めとあれば、好き勝手に破壊する。假令、それが多くの人々によつて要求されてゐるものであらうと、少しも斟酌されない。澤山の貧困が、一方に莫大な富を集積させつゝ生れて行く。日毎に幾千幾萬の人間が、この制度を存続させる爲めに死んで行くのである。要するにこの制度の下に於ては、生産と消費、即ち人間の眞實の必要との間に、如何なる均衡をも齎らし得ない。無數の法律、社會事業組織も、また人類に奉仕せんとする高潔なる情熱も、この條件に直面しては全く無力とならざるを得ない。

協同組合運動は、かゝる中に發展してゐるのである。それは各人の必要を充足せしめることを以て出發し、間もなく各人の要求に合致するにはどうしたらよいかといふことを學んだ。そこには何の投機もない。蓋し、各人の嗜好を知り、どれだけ量が必要であるかを確實に確かめられるところにあつて、さうした投機は必要でない。一度、物資の必要量を決定すれば、單獨なり、

或ひは數組合聯合してなり、卸賣組合に注文を發し、供給を受ける。そしてこれを、最初の計算に従つて各組合員に配給する。このやうな生産と消費の等量の上に立つとき、如何なる擾亂的原因も介在する餘地はない。こゝに一つの島があつて、そこに完全なる協同組合制度が實現してゐると假定せよ。貧乏と失業は、もはやそこに存在しないであらう。生産過剰はあり得ないのだから生産物を破壊したり、或ひは不當に生産制限を行つたりすることはないであらう。

協同組合運動は、現下の無政府的生産に對する、計畫經濟に外ならない。而して計畫經濟の遂行の下にあつて、恐慌——それは根本的には生産と消費の不均衡に因る——が起る筈はなく、従つてそれに基く不幸もあり得ない。

### 計畫的財政と現金制

併しながら、以上の特質のみを以てしてもまだ不充分である。協同組合運動が、その目的を達成し、特殊なる性格を保持する爲めには更に、計畫的財政と現金制といふ問題を解決しなければならぬ。協同組合の財政は、組合員の據金を基礎とすることは勿論であるが、また事業の發展に對する剩餘資金の活用をも基礎とする。剩餘金はすべて組合員に分配されるべきものではな

い。その中の相當額は、將來に對する積立金となり、また諸設備の改善費や補修費とする。それ故、剩餘金中の一定額——多くの國に於ては、これは法律で要求されてゐる——は、別途に積立て置かれるのである。この積立金の増加は、また組合員にとつて間接に利益を齎らす。即ち、これによつて配當が増し、それは個々の家計收入に相當の潤ひとなるからである。

嚴密にいへば、協同組合運動は、借金せねばならぬ必要を見出し得ない。しかし、もし借金をする場合に、それは二つの理由からである。組合員は、自らの貯蓄を私的企業家に對してより、むしろ自分達共同の事業に投ずるのを望む。従つて組合はこれを貯金の形で受け入れ、共同の物資の爲めに活用するのである。もちろん、この貯金額の相當部分は、貯金者たる組合員の不時の必要による引き出しに備へて、常に準備されて置かれる。しかし、その殘餘は、組合運動の諸目的の爲めに使用されるのである。殊に組合が不斷の擴張を遂げてゐる場合には、かうした必要は不可避的である。組合員の出資だけでは決して充分ではなくなる。

併し、かやうな借金主義は、組合經營にとつて甚だ危険であり、殊に掛賣制度によつては、かかる危険は倍加する。そこで現金取引を制度化し、これによりかかる危険を防止するばかりでなく、必要資金の大部分をこれに依存するやうに仕向けることが必要となる。現金制度は、單に組



合への組合員の支拂だけに適用されるだけでなく、個々の小賣組合と卸賣組合並に生産組合等との間、更に一層廣く對外的關係に於てさへ徹底されるべきであらう。同時に組合の財政は、極めて慎重に取扱はねばならない。些少の支出も、資金關係との計畫を以て處理されるべきである。如何なる冒險や幻想もそこに許さるべきでない。財政を開放的に、正直に、そして責任を以て行ふところ、組合を永久の發展に堪えさせるものである。

### 協同組合の倫理的意義

協同組合の經濟は、組合員の購買を基礎とするが、この直接の當事者は婦人、即ち家庭の主婦である。協同組合が婦人と密接な關係にあることは、他の如何なる政治的、經濟的組織も及ばない。彼女等は、その上に偉大なる社會運動が建設されるどころの大切な礎石である。主婦は、いふまでもなく一家の經濟的利害を求める。併し、元來婦人といふものは、道德的、社會的思想には極めて敏感なものである。彼等は、母として新世界の創造に熱意をもち、自らの子供達の爲によりよい社會の來らんことを希求する。従つて協同組合運動のもつ倫理的意義は、彼女等の願望にびつたりと一致する。そして單に實際的經濟目的の爲めに結合するばかりでなく、より高い社

會秩序を持ち來らさんとする産業組合運動の努力は、彼女等の心からの同意をかきたてるのである。彼女等は感じるであらう。こゝにこそ自分達の熱意を傾倒すべき運動があるといふことを。各人の日常的要求を満たすばかりでなく、人類の生活並に活動を全然新しい基礎の上に再組織する偉大なる事業のあることを。假令、その方法は單純であり、また華かな煽動性を缺いてゐても、その目標とするところには、社會改造のための凡ての事を包蔵してゐる。協同組合運動は、すべてのものに開放されてゐる。すべてのものの日常利益を、獨特の方法を以て守り、新世界秩序の建設に邁進する。その指導精神は「一人は萬人の爲めに、萬人は一人の爲めに」である。

協同組合婦人の努力すべきことは、次の言葉に要約し得る。自分達自身の爲めには、責任ある行動と人格の向上のための自由と權利を。子供等の爲めには、より高い社會秩序と缺乏や貧困を廢絶した經濟組織を。世界人類の爲めには、地球を再びすべての人々の樂園と化するために各國間の平和と人類の福祉の爲めの協同行動を。全世界の協同組合婦人の目的は、かくの如きものである。

## 第二部 國際協同組合婦人協會

### 國際協同組合婦人協會の組織・目的並に現狀

世界大戰の勃發前の最後の國際協同組合大會は、一九一三年に開催された。このとき、イングランド協同組合婦人とオーストリアの協同組合婦人とが、初めて相會する機會を得たのである。國際協同組合婦人協會創立の礎石は、この會合で先づ固められた。こゝで今後兩國組合婦人は不斷の接觸を保ち、活動上の方針や經驗を互ひに交換し合ふことが定められたのである。しかし、間もなく大戰が勃發し、この取り定めを行ふには、最大の困難を伴ふやうになつた。兩國婦人は極めて稀に情報を交換し合ふ程度であり、何等かの組織的な關係を打ち立てることは思ひも及ばなかつた。ところが、一九一五年に入るに至つて、事態は稍々好轉し、英國、オランダ、オーストリア及びスキエスの各全國協會が、共同で平和恢復の決議を行ふことになつた。この決議は、ドイツ側たると聯合軍側たるとを問はず、全世界の國民に挨拶を送り、速かに戦争を中止せしめるやう、協同一致の舉に出づべき旨、訴へたものである。かくて一九一八年、戦争終熄後間もな

く、オーストリア組合婦人を代表してエミイ・フロインドリツヒ夫人がロンドンに渡り、英國組合婦人を代表するリユーエリン・デヴィス女史と記念すべき會見を行ひ、諸種の意見を交換した。これを機として、兩國組合婦人の連絡は、一層緊密となり、情報も定期的に交換し、次のオーストリアの大會には、英國協會はオノラ・エンフィールド嬢並びにフアーガソン夫人を代表として派遣したのである。かやうに兩國の接觸が深まるにつれて、各國の活動的婦人が、互ひに結合し、聯絡をとつて、世界協同組合婦人運動の爲めに盡すべき必要は、愈々緊急となるに至つた。かくて一九二一年に開かれた國際協同組合大會を機として、國際協同組合婦人の歴史的な初會合が行はれたのである。尤もこの會合に出席した婦人は總數、僅か二十六名、これに代表された國々は、六ヶ國にすぎなかつた。併し、この人々は錚々たる活動家であり、終始熱心な討議を續けて、こゝに國際婦人組織の基礎を築くべき創立準備委員を送り出すに至つた。この委員會の會長には、オーストリアのエミイ・フロインドリツヒ夫人が挙げられ、書記長には、英國のオノラ・エンフィールド女史が就任した。そして、同女史が當時書記長を勤めてゐた英國協會の事務所内に、委員會の假事務所を設けることになつた。これと共に、即時、二つの大きな仕事に着手せねばならなかつた。即ち、創立準備會に代表を送らなかつた各國協會に對し、參加の勧誘を

行ふこと、及び國際活動の諸問題に就て準備すること等である。

これまで各國の協同組合婦人は、他國の活動情勢に就ては、殆んど知つてゐなかつた。比較的詳細な活動報告が手に入ることはあつてもそれは極めて稀であり、また充分満足せしめるほどのものでなかつた。そこで準備委員會の當面の活動は、各國婦人活動の報告を求め、これを通じて、國際活動の諸任務を規定し、最も要求に合致した國際組織を設立することであつた。これは決して容易な仕事ではない。個々の婦人協會の歴史に就てみれば明かなやうに、この時代には、各國ともに、未だ獨立した協同組合婦人の活動や組織は、殆どなく、ただ僅かにノールウェイ及びスウェーデンに相當發達したこれらの組織を見る程度に過ぎなかつたが、それとて實狀はあまり知られてはゐなかつた。婦人運動の方法は區々であり、婦人の法律上の地位並に彼女等の諸組織は複雑多岐であつた。これらはすべてその國の社會的發展の段階並びに環境によつて決定されるものである。そこで先づ諸國の婦人や協同組合運動の援助を得る爲めに、恒常的な働きかけが必要であつた。この爲めには、國際協同組合聯盟書記長、メイ氏の並々ならぬ盡力を特記せねばならない。同氏は、組合婦人運動の眞に忠實な友人であり、援助者であつた。同氏のお蔭で『國際協同評論』("Review of International Co-operation")——國際協同組合聯盟機關誌に特別の一

欄を割愛して貰ひ、これを組合婦人欄として、若きこの國際組織の報道、聯絡に當てることになつたのである。このやうにして、漸く既設協會は、ともかくもすべて新委員會に加盟することとなり、同時に急速に新組織の基礎固めを行ふことが出來た。併し、まだ最も困難な仕事が残つてゐた。それは新組織の形態、即ち、新組織は如何なる制度の下に樹立さるべきかといふことであつた。當時存在してゐた協同組合婦人組織には、明かに二つの形態が認められた。一つは財政の上でも、活動の上でも全く獨立してゐるもの、他は全體としての協同組合運動の中に包括され、多かれ少なかれ、その從屬的組織となつてゐるものである。けれど、新國際組織は完全に獨立的であり、自主的なものでなければならなかつた。それ故、それを構成する各國協會は、婦人自身の統制下にある自主的組織たる事が必要であつた。そこで重大な規定が定められたのである。即ち、すべての成員たる協會は、婦人によつて選出された独自の執行機關を有し、且つそれ自身の決定を行ひ、これを實行する權利を有するものに限るといふことになつた。

かくて一九二三年、準備委員會はブラツセル近郊のウツクレに在る國民高等學校講堂に會し、新規約を討議し、次回の國際協議會を、一九二四年、ダント市に開催することとして、その準備を打ち合せたのである。

### 目的の設定

加盟員の資格が決定されると共に、次の仕事は、協會の目的及び對象を明確に規定することであつた。事業の範圍を、狭きに偏せず、廣きに流れず、最も妥當に決めるといふことは、なかなか難かしい。殊に、この點に關しては、各國ともにそれ／＼趣きを異にしてゐた。或る國では、協會の活動は嚴密に協同組合の領域に限られ、社會的政治的問題はその他の婦人組織に委してゐた。他の國では、婦人の生活に關する問題は何でも、活動の對象としてゐた。そこで到達した結論は、協同組合運動に關する問題は、何でも協會の活動範圍に含まれ、同時に一般婦人問題でも協同組合的見地に立つてとり上げ得ることは、すべて協會の活動の對象となるといふ事であつた。この理由から、國際協會は政治問題には關與しない。従つて協同組合運動と關係のない政治活動には全然與らない。規約は、協會の目的を次のやうに限定した。

全世界の協同組合婦人の團結をはかること、

(a) 協同組合精神の發展の爲めに、

(b) 協同組合の理論並に實踐の促進の爲めに、

(c) 家庭生活の諸條件を向上せしめる爲めに、

(d) 世界平和の爲めに、

協會の諸事業は、執行委員會の手で遂行される。執行委員會は、各加盟全國組織が選出する各一人の代表によつて構成される。どんなに澤山の組合員を擁してゐようと、一つの全國組織から一人の代表である。これは事業執行の上に、小國側の意見が無視され、大國側の意見が中を利かす弊を避ける爲めである。最高機關は、國際協同組合婦人大會である。大會は、國際協同組合聯盟の大會が開かれる時に關聯して、三年に一回開かれる。各國協會はその大きさと會費納入會員數の多少に比例して、行使し得る投票數を増すが、併し最高二十票を超えることはできない。一國からどんなに澤山の代議員が出席しても、行使し得る投票數は二十票を超えることはできない。この決定は、特定の國の全國組織の概念をどう決めるかといふ問題が起つて、原規約を改正した結果である。或る國々では幾つもの組合婦人の全國組織がある。そしてその中にそれ／＼全く獨立してゐるものもあれば、他の組織によつて多少とも統制されてゐるものもある。もしこれらの組織の間に利害の相違があれば僅かの票數では、大會に於て充分に意見を反映させることは出來ない。かといつて無制限に投票數を殖やすことは出來ない。そこで大體、以上の標準が決定さ

れたのである。全國組織の概念は、討議の結果、次のやうに決められた。即ち、独自の規約をもち、より大きな全國的組織の統制を受けてゐないこと。

かくての一九二四年、ゲント會議は、實際上第一回の國際協同組合婦人協會大會となり、十六ヶ國から二百名の代議員が参集し、前述の準備委員會決定草案を審議可決した。そしていよいよ實際活動の第一歩を踏み出すに至つた。

### 各國協會の設立

さて、こゝに問題となるのは、既設協會相互間の接觸を確保し、或る問題に就ての共同の意見、共同の行動を保つといふことばかりでなく、未だ積極的な婦人の働き手をもたず、何等の中央組織も有してゐない國々で、如何にして全國協會の設立を促進して行くかといふことであつた。また例へば、ドイツのやうに協同組合運動は甚だ盛んであるが、その中に於ける婦人の地位は殆ど問題にならないといふ國もある。かういふ場合には、協同組合運動の中に於て婦人の活動は、如何に重大であるかといふ輿論を喚起せねばならない。

この爲めに、會長フロインドリツヒ夫人を初め執行委員、書記長等の各國への遊説が必要であ

つた。そこで役員達は手分けして、各國各地の會合に出席し、全國協會の設立、組合婦人の國際的協力の必要に就て、組合の注意を喚起したのである。尙ほ、ゲント大會での新組織結成の直後、フロインドリツヒ夫人は永い沈黙を破つて第一聲を、世界協同組合運動に投げかけた。それはクレモナ大會以來の久しいものだつた。夫人は、協同組合運動の中での婦人活動の重要性を力説し、すべての國の中央會は組合婦人の協力、全國組織の設立を援助し、促進すべきことを要請した。これは聯盟大會で満場一致採擇され、國際協同組合聯盟も、この爲めに出来るだけの支持を與へることを誓つた。

かくて、年々新組織の設立を見、新らしい婦人の働き手が殖え、會員數も増加し、これと共に、國際協同組合婦人協會の加盟團體も増大して行つた。ところが、未だ困難は排除されてゐない。かやうにして設立された全國組織の中でも、全部が全部、國際協會に加盟するわけではなかつた。或る場合には、外部の壓力で婦人が自主的に決定を遂行することを妨げられるやうな事情もあつた。例へば、フィンランドでは、有力な婦人組織があるに拘らず、その執行委員會は男も入れて構成させられてゐた。その爲め國際婦人協會に加盟することが出来ない。また他の國々、エストニア、ラトヴィア或ひはデンマークといふやうな國々では、地方的協會や地方的婦人組織

はあるが中央組織はなかつた。中央會はこの組織の促進にはあまり熱意がなかつた。その爲め、これらの婦人組織は、國際協會の加盟資格を持つに至らない。國際協會はすべての協同組合婦人團體に對して分け隔てはつけない。協會に加盟してゐようがゐまいが、組合婦人を共同の目的に結合し、支持する。だから加盟範圍の埒を超えて、遠い國々、日本、印度、アメリカ合衆國、ニユー・サウス・ウエールズ、アルゼンチン等々の婦人團體にも呼びかけ、接觸を維持する。そしてその爲めには、これらの國々も代表を選び、協會執行委員會と協同し、その會合には投票權はないが、しかし出席する權利を有するやうな途を開いたのである。

同様な權利は、國際大會の場合にも適用される。協同組合組織に關する婦人は誰でも大會に出席し得るが、但し投票權はない。そして協會規約の許す範圍内で討論に参加する事が出来る。

けれども、勿論、すべての未加盟團體に、推薦委員の席を與へることは出来ない。國家或ひは大衆組織と關係あり、協會の承認を得た場合に限られる。現在のところでは、アメリカ合衆國及び印度に推薦委員がある。かゝる委員の任務は、周圍の各種婦人組織の連絡を密にすることに努め、國際協會の目的並に活動を、これらの婦人組織や有識婦人の間に知らしめる。

現在、國際組織に加盟してゐる全國的協同組合婦人組織は、次の國々である。オーストリア、

ベルギー、ブルガリア、チエツコスロヴァキア（チエツコ系及びドイツ系の組織は各獨立して参加）  
 イングランド、アイルランド、ノールウェイ、ポリツシュ・ウクライナ、スコツトランド、  
 スウエーデン、スキス、ソヴェート聯邦等。

・英國ではイングランド、スコツトランド等、それぞれ獨立して参加してゐる。

・ポリツシュ・ウクライナは本年（一九三六年）参加したばかりである。

昨年（一九三四年）、二つの全國組織が脱退した。一つはオランダであるが、それは同國協會が解散した結果である。現在に至るまで、獨立の決定をなす婦人の執行部は、つくられてゐない。もう一つはフランスである。この國の婦人組織は、いつも弱い。數年間、實際の活動は殆ど何等爲してゐなかつた。

かやうなわけで國際協同組合婦人協會の加盟者數は甚だ少ないやうに見える。しかしそれは正當でない。國際協同組合聯盟との關係を通して、協會は約一億人に上る會員數を包容してゐる。これは他のどんな婦人團體よりも廣汎な影響をもつことを意味する。尙ほそればかりでない。協會は一定の經濟綱領を以て活動してゐる國際婦人組織として、唯一のものである。その社會的、經濟的目的は、一定の經濟制度に根をはつてゐる。そしてこの理由の故に、今日存在する如何な

る婦人團體よりも、精神的結合に於て鞏固である。協會の綱領は、他のどんな婦人團體も企て得ない特殊の任務及び一切の活動を決定する。

### 組合精神の發展

婦人協會の任務は、二つの方面に分けることが出来る。一つは協同組合運動内部に於て婦人の利益を深めること、他は婦人に協同組合を理解させ、そこに利益を見出すやうに教育することである。この場合一方を完成することはまた他を完成することでもある。併し兩者はともに協同組合運動の地盤の中で、獨立的且つ決定的な活動範圍を要求する。各種會合に於ける討論でも、或ひは協會の發行するパンフレットでも、すべてこの二つの目的を交互的に發展させるにはどうしたら良いか、といふことに盡きる。消費組合運動も、亦、農事協同組合運動も、その進展は婦人の同情や協力に大きく懸つてゐる。だか、もしも婦人が協同組合運動の中での重要な仕事を果さうとするならば、その底に横はつてゐる經濟的原則に就いて充分な理解をもつてゐなければならぬ。協會の活動が主として關係するのは、家庭の主婦である。そして現代の小賣配給機構が、彼女らにとつて如何に不利であり、有害であるかを知らせねばならない。この爲めには彼女らの利

益を充分に守ることをしない組合に對して警告を與へ、全體としての組合運動の進展に努めさせねばならない。また協同組合組織に全く無知であつて、低い價格よりも高い配當を要求する主婦があつたとする。これらの主婦は組合の將來の發展に對して全く無知なのであつて、かういふ要求に追隨する結果は、組合の存立自體をも危険ならしめるものである。かうした傾向と、協會は闘ひ、啓蒙せねばならない。

他方、高價格・高配當主義は、比較的貧乏な人々の組合加入を拒否する結果になる。彼等は這入りたいと思つても這入れない。しかも組合が高價格を維持することは小賣商人に大きな利潤を與へることになり、このことは消費者の重荷を軽減するどころか、反つて負擔をますこととなる。たとへ、一年の終りに澤山の配當を受けることが出来たとしても！産業組合の機能は、公正なる價格で良い品を配給し、組織的な經營方法で蓄へられた剩餘金を分配することである。しかし、この配當は人爲的に吊り上げられてはいけない。

かうした問題に婦人の注意を蒐める爲めに一九二七年のストックホルム大會で、特別のパンフレットを配布した。これは各國の組合活動の狀況を述べ、必要な原則を指示したものである。最近、この問題が特に取り上げられた國々はスコットランド、スウェーデン等であつた。現在で

は、殆どすべてのところで、配當を正常な原則的水準に維持する努力が爲されてゐる。その他、信用取引の問題でも、組合運動の障礙となるどんな問題でも、婦人の積極的参加を必要とすることは無数にある。

一般に、どこの國の民法でも、市民の私的生活の規範を與へてゐるものであるが、それは夫を首位に置き、妻が家族の物質的必要に對し實質的に寄與してゐる場合でも、妻には從屬的地位しか與へてない。従つて、多くの國では婦人が獨立的立場の上に協同組合に加入するといふことは困難である。もしも、婦人が男と同様な地位に立ち、選挙に當つても男と同じ權利をもつやうにならうとするならば、法律を婦人の欲するやうに、なほさなければならぬ。ストックホルム大會の次の大會は、ウイーンで開かれたが、この問題はこゝで徹底的に討議された。協會事務局は、各國で行はれてゐる諸法規を、その爲の材料として廣く蒐集した。書記長エンフィールド女史はこれを精査し、明瞭且つ確乎たる形式で大會に提出したのである。その結果、各國協同組合婦人協會は、法律上の婦人の地位を向上せしめる爲めに一層努力し、少なくとも協同組合内部では、婦人も男も完全に同等の權利を取得するやうに、その實現に努めるといふ決議が採擇された。

### 經濟問題への關心

協同組合は、それ自身特殊の團體であるとはいへ、その背景となつてゐる現行經濟組織の制約を受けてゐることはいふまでもない。組合活動のどんな部分も、資本主義經濟の消長に影響されざるを得ない。それ故、協同組合の諸問題は、それが實際的であらうと、理論的であらうと、常に世界經濟の實狀に對する反省を行ふことなしには、完全に理解することは出来ない。このことは多くの指導者が特に注意を要する點である。一般經濟に對する注意を輕視するやうになると、組合運動は必らず硬化し、弾力性のない、金錢出納掛式な、或ひは往々重大な危險に陥るやうな結果を招く。かくて國際協同組合婦人協會は、この方面の知識を主婦及び一般婦人に與へ、一層經驗ある見解を立てられるやうに努める。これは協會の重要な活動部面である。取引政策、關稅制度、國際貿易合理化運動、或ひはまた商業、生産制限、獨占企業に對する國家の干渉等々に就て一般婦人は、更に正確な知識をもち、協同行動に出られるやうにしなければならぬ。

協會は、これまで繰返し經濟政策の諸問題や現在の經濟の動向及びそれらが婦人に與へる影響を研究して來た。殊に最後の問題は一九三四年度のロンドン大會で、大討論を惹き起し、その結



果、例の二ヶ年計畫の採用を齎したのである。二ヶ年計畫とは婦人の立場から協同組合運動の擴充刷新を一定期間内に達成することを企てたものであつて、凡ゆる國々の協同組合婦人協會によつて遂行されたものである。その実績はいづれ次回大會に、特別に報告されるであらう。

經濟問題に於ける協會の影響がどんなに大きいかといふことは、次のことから充分察知し得よう。即ち、委員長フロインドリツヒ夫人は、過般の國際經濟會議の準備委員會に於て國際聯盟から指名された唯一人の婦人委員であり、また世界經濟會議にはオーストリア政府代表の中の唯一人の婦人であつた。殊に後の場合には副議長の職に就いたのである。そして會議の閉會後は、會議の決定の遂行如何を監視する諮問經濟委員會の一員となつた。またアルペール・トーマ氏が國際労働局の理事であつたとき、同氏の主宰の下に設置され、國際協同組合聯盟と國際農業委員會の協力に成る合同國際協同組合委員會には、フロインドリツヒ夫人も、委員の一人として参加した。以上の諸事實が物語るやうに、經濟問題の中での組合婦人組織の地位は極めて重要である。だが一九三〇年の世界經濟會議の彼の貧しい結果を契機として、多くの國々に於ける婦人の影響は幾分降り坂になつてゐる。不幸にもこれは事實である。彼女らの要求はもはや充分には考慮されず、國內的、國際的領域の如何を問はず、各種の國際婦人組織によつてなされるいろ／＼

の提言もあまり顧られない。けれど、かうした情勢の中にあつて、我が協會は、意氣沮喪してはゐない。一層積極的に、通商問題、通貨安定問題及び協同組合運動促進の諸方策に就て主張を掲げ、活動を續けてゐる。

經濟問題の中に於ける協會の任務は重く且つ大きい。幾多の仕事が、解決されることを待つてゐる。しかし國際情勢の複雑なことは昔日の比でない。今日、各國の加盟團體は、その經濟的利害に於て、同一の歩調にたつてゐない。國際協同組合婦人協會がどんな方策を採用するにしても、その前には永い、そして注意深い研究を行ふことが必要となつてゐる。従つて方向としては、國際協同組合聯盟と同じやうに、それ自身の活動をますます純粹の協同組合問題に集中し、協同組合組織の擴充伸展を通してその影響を保つて行くやうにならざるを得ない。

### 家庭生活の合理化

協會は、協同組合運動が個々の家庭を基礎とし、その上に成り立つてゐるといふ事實を決して見失はない。かゝる組合運動と家庭との相互依存關係は、主として婦人の積極的利益に胚胎してゐる。つまり主婦の利害が結び目になつてゐるのである。組合婦人の運動は、好むと好まざると

を問はず、主婦の運動でなければならぬ。主婦こそ、その成員の大部分を占め、且つ協會が擁護しようとする特殊の利害を擔つてゐる。従つて協會の第一義的活動が、家庭生活の改善に置かれ、主婦の地位の合理化に向けられるのは極めて當然である。家事の合理化、家族の給養、家庭に於ける主婦の特別の仕事、その他多くの大切な仕事は、婦人の社會生活の中での地位の向上、自由の獲得に伴つて、正しく處理される。けれど、協會の活動は、かやうな主婦生活の改善の角度からみなされるものではない。このことも家事上のいろ／＼なことも、すべてあらゆる可能な角度から考へられるのであつて、全體としての女性の向上の角度から取扱はれるのである。そしてこの目的の達成の爲めには、ただ單獨で活動するばかりでなく、その他の國際團體とも協力する。ストツクホルム大會では、洗濯の合理化に就て熱心な討議が行はれた。ウィーン大會では、育児と家事の簡易化を研究する公共機關が欲しいといふ主婦の要求を、緊急の問題として取扱つた。即ち、共同炊事場の設置、託兒所、幼稚園の整備普及等々。更に進んで、婦人を賃銀取得者たることから解放して、専心家事にいそしめるやうに、公共基金を設定して、これで家庭補助金とでもいふやうなものを授けるやうに、こんなことまで討論された。

婦人協會はまた、國際生産關係研究所の主催に成る世界社會經濟會議へ参加し、ジエネバの國

際管理問題研究所と接觸し、また國際勞働局で設置した餘暇組織委員會なども緊密な連絡をとるやうになつた。餘暇組織委員會との連絡によつて協會は婦人の餘暇を合理的に設けることに、一般の注意を向けさせた最初の婦人團體となつたのである。全くこれまでの主婦の生活は、寝てゐる間だけが休みであるといふひどいものであつた。また管理問題研究所との協力は家事の合理化に就て、いろいろの創意を發揮した。しかし不幸にもこの研究所は資金の缺乏のためこれをよく遂行出来なかつた。又協會は賃銀取得者でない家庭主婦の爲めに、その家庭に於るプログラムを起草し、彼女らに必要な社會的サービス及び當然持つべき權利を確保せんとした最初の國際的婦人團體である。

### 世界平和の増進

世界平和の爲めの諸活動は、次第に協會の活動の前面に出て來てゐる。どんな會合にも或ひは協議會、國際大會に於ても、平和と軍備縮少乃至全人類の安寧といふことに注意を向けずには濟まされない。記念すべき協會の創立大會たるゲントの會議では、リユーエリン・デヴィス女史が、戦争の危険と世界軍備の問題に就て、一つの決議案を提起した。これは「生か、死か」と題

する三ヶ國の公用語によるパンフレットに作成され、加盟協會員全部に配布されたのである。我が協會はこれまでただの一度も平和に對して、受身の態度に出たことはない。常に、眞剣に注意深く事態を注視し、建設的な提案を試みることに努めた。協會は、早くより平和條約の危険性を認めてゐた。該條約は、實際に於て、協約といふより命令的言辭を包蔵してゐた。だから世界平和を導き出す能力はなかつた。協會は、加盟各國團體の経験から多くの國內的問題、なかでも中央及び南ヨーロッパの國々の國內的問題が、未解決に残されてゐることを知つてゐる。そしてまたいくらこれら小國側が軍備縮小に努力したとしても肝心の強大國がこれに興味をもたないとなれば、少しも成功するものでないことを心得てゐる。また、このことの爲めには特に太平洋の諸勢力とも緊密に協力せねばならぬ。

一九三四年の最後の會議では、協會は平和追及の爲めの新しい試みを探ることになつた。即ち、全人類が安定と平和を享受する爲めに、軍需工業を國家的並に國際的統制下に置くこと、戰爭の心理的原因を攻究すること、これは經濟的原因と混同さるべきではない。また諸青年組織の國際的奉仕を軍事的組織ではなく、人類の苦惱を除くための方向に導くこと、彼等のロマンチックな衝動、青年特有の自己犠牲的熱情を、かうした方向に導くこと、等。しかし最近の國際情勢

の險惡化は、このやうな活動を行ふ餘地を著るしく狹隘なものにしてゐる。けれど、協會は、ジエネバの婦人軍縮委員會と密接な連絡を保ち、平和の理想とその國際的理解を深める爲めに努力してゐる。ドイツの古い歌『冬來りなば、春遠からじ』を信じつゝ、平和と軍縮と全世界の安定の究極的勝利を見るまで我が協會の努力は續くであらう。

### 過去と未來

協會が、バーゼルの初會合で創立されて以後、まだ僅かに十四年の歳月を閲したにすぎない。第一回の國際大會以來では十一年しか経たない。しかし、この短い期間とはいへ、人類の至高の理想を實現する爲めに努力した仕事の大きさは、決して些少のものではなかつた。世界中の婦人に向つて覺醒の角笛を吹きならし、家庭の中の日常の行動を通じて人類に役立つ奉仕の途を示し、それへ驅り立てて來た。それへの反響は大きかつた。將來の伸展も保證されてゐる。世界のあらゆる國々から新らしい戦士が生じ、活動的な協同組合婦人軍は、日に日に充實しつゝある。社會の爲めの新らしい且つ實り多い活動が彼女らの來り投ずるのを待ち望んでゐる。彼女らは、いまや要求するだけであつてはならない、その要求が、如何に正當であるかといふことを實

踐によつて證明しなければならぬ。我々には、もつと行動に於ける執拗さがあつていゝ。もちろん各國の組織がすべての國際的な提案や計畫に對して同一歩調に出るといふことは難かしいであらう。けれど、すべての組織はその活動に對してあくまで忠實であり、少なくとも各國の許す限りの習慣や傳統、條件の範囲内で、出来るだけ互ひに協力するといふ熱意は、しつかり維持されねばならない。主婦といふ一つの階級では、世界史的背景の下にあつて、すべての主婦はみんな同一の立場に置かれてゐる。しかも、今日では、はつきりした目標と共通の利害によつて結ばれてゐるのである。

わが協會は、國際間の溝渠を埋める爲めに努力して來た。その影響は、國內的にも、國際的にも、主婦生活に著しい影響を與へ、他の有力な國際團體と均等な發言權をもち得るまでになつた。即ち、頭腦若くは肉體の勞働によつて生活してゐる勤勞者階級の組織に伍して、同一の機會を獲得するに至つた。だが我が協會を初め各國の協同組合婦人にとつて解決を要する諸問題は山積してゐる。幾百萬の婦人が、我が組織の圏外に放置されてゐる。我々はまだ、すべての婦人を協同組合に組織することに成功してゐないばかりか、個々の組合婦人を、眞に協同組合の理想に目覺めしめ、忠實且つ積極的な働き手とすることに成功してゐない。しかしこれに成功しなければ、

ば、協同組合運動を、本當の世界的勢力とすることは出来ないのである。

協會は、不斷に新しい目標を求め、追求する。そしてその達成に間斷ない努力を拂ひ、その爲めに、出来るだけ多くの世界の婦人を動員せねばならない。時勢がいゝとか、悪いとかは、ちつとも問題でない。一瞬間といへども停滞を許されぬのが、協會の本質である。協同組合制度の世界的實現を見るまでは、斷じて休まない。倫理的、經濟的改善と進歩が、世界を、見遠へるものに造り上げるまで我々の活動は續く。

「搖籃をゆすぶる手は世界を支配する」といふ言葉がある。やがては世界を支配するかもしれない可能性は、實に母性によつて育まれるのだ。世界中の母達よ、いまこそ手を組まう。そして、高らかに我々のスローガンを唱へ、それを自らの生活の目標としよう「あなたの爲めの我が子、それはまた私の爲め、いや世界人類の爲め！」

375  
655

昭和十二年七月廿五日印刷  
昭和十二年八月一日發行

定價十錢

譯者

日本消費組合婦人協會  
代表 押川美香

印刷人

東京市錦田區錦町二丁目五番地  
株式會社 文成社  
前川群平

發行所

東京市本郷區駒込追分町五三番地  
日本消費組合婦人協會

H2B-33

終